

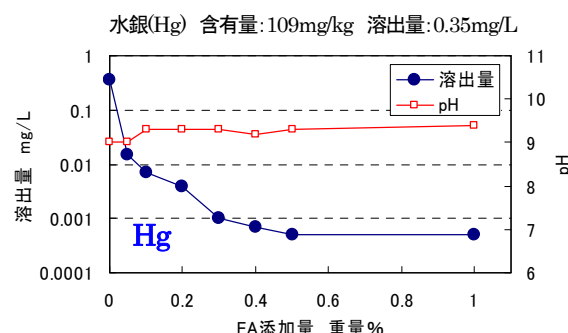
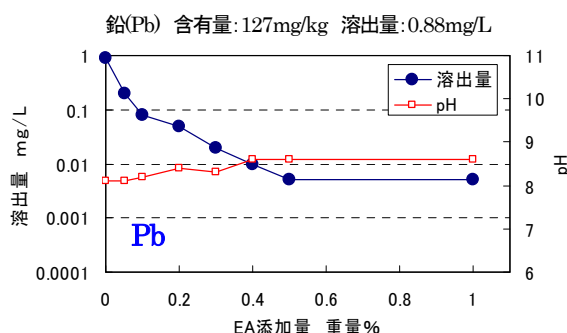
土壤処理用重金属不溶化材 アムテクリーンM-EAの重金属不溶化性能

アムテクリーンM-EAを用いて処理を行った土壤の重金属溶出量変化を評価し¹⁾、酸、アルカリ添加による安定性試験²⁾を行った。

1) 環境省告示 46 号(平成 3 年) 「土壤の汚染に係る環境基準について」

2) 社団法人土壤環境センター 「重金属等不溶化処理土壤の安定性に関する検討部会報告 - 酸添加溶出試験法、アルカリ添加溶出試験法」

■ 不溶化処理後の代表的溶出性能



■ 酸、アルカリ添加による安定性試験

試験概要: 社団法人土壤環境センター「重金属等不溶化処理土壤の安定性に関する検討部会報告 - 酸添加溶出試験法、アルカリ添加溶出試験法」に準拠し、鉛(Pb)による実汚染土壤サンプル 200gを用いて、重金属不溶化材としてアムテクリーンM-EA、および一般的な不溶化材である硫化ナトリウムをそれぞれ0.5重量%添加し、ミキサーで20分間攪拌した後、酸性/アルカリ性の各溶媒に添加し溶出濃度を調べた。

汚染土壤の鉛(Pb)濃度 : 含有量 108mg/kg、溶出濃度 0.86mg/L

酸性水 : 酸性雨(pH = 4.0)、年間降雨量 2000mmを想定して硫酸を用いて作成した。

アルカリ性水 : 不溶化した土壤がセメントに暴露されることを想定して消石灰を用いて作成した。

結果(下表参照) : アムテクリーンM-EAを用いて不溶化した土壤は酸性状態において少なくとも酸性降雨1300年に相当する期間環境基準値(0.01mg/L)以下の値を維持した。

溶出溶媒	超純水	酸性水			アルカリ性水		
		降雨 100 年相当	降雨 1300 年相当	降雨 2600 年相当	降雨 100 年相当	降雨 1300 年相当	降雨 2600 年相当
アムテクリーンM-EA 使用時の溶出濃度	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01



パナソニックは、調査・コンサルティングから浄化施工、モニタリングまでトータルでご提案いたします。サンプル土壤による事前の不溶化試験を行います。詳細はお問い合わせください。